



2012年9月2日 (第150号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
ひびきの
ジャーナリストの質問
教会の中で
かわるきものは
「あなた」と「わたし」
マザー・テレサ

秋が深まると、高松教区では「教区民の集い」のシーズンを迎える。すでに10月からは11月にかけて四県での開催日程が決まった。集いでは「わたしたちはこんな教会になりたい」の実践をさらに深める。また今年「信仰年」を迎えて、諏訪榮治司教の提案によって、信徒がそれぞれの信仰体験を「ダイナミックメモリー」で振り返り、そこからの祈りを分かち合う。それは「聴く」から「証する人」に生まれ変わることで、福音宣教する新しい教会への成長を目指す。

## 10月～11月 4県で「教区民の集い」

高知地区 10月21日
香川地区 11月4日
愛媛地区 10月28日
徳島地区 11月11日

### 互いの信仰体験分かち合い 「証する人」への脱皮めざす

「教区民の集い」の各地区の日程は、高知地区10月21日、愛媛地区10月28日、香川地区11月4日、徳島地区11月11日に決まった。各地区ともすでに、実りある集いとするため、準備作業に力を入れている。今回の集いをどんな形で行うのか各该地区の関心の的だ。高松教区ではこれまでナイスの基本テーマとなつて「信仰」「共同体」「現実」をキーワードに「こんな教会になりたい」を深めてきた。そして今年の「集い」を迎える。7月下旬、諏訪司教名で「信仰年に当たり、教区民の集いを準備するために」と題する文書が発表された。

### 「信仰年」を有意義に

諏訪司教は「昨年の宣教会のテーマ『どんな教会になりたいのですか』の深まりが継続されています」と述べ「今年10月11日から『信仰年』が始まります。この年を有意義なものとするため教区民の集いでは「どんな教区民の集い」をテーマに、一人ひとりの信仰体験を確認するため『ダイナミックメモリー』について、「信仰の目で人生を振り返る」とすることとする。信徒が今までの人生の歩みを丁寧に振り返り神の導きを黙想する。自分が喜び、挫折、導かれた言葉、神様との絆など。「その出来事の中に流れている神様の御はからいや呼びかけを信仰者として気づき、主の御手の中にある私の存在を見つけていることは有意義である」とする。

### 信仰年に寄せて②

宇和島教会担当司祭 田中正史

いよいよ来月10月11日から来年11月24日まで特別年の「信仰年」が開催されます。教皇ベネディクト十六世は「信仰年」を開催を告示するにあたって『信仰の門』(Porta Fidei)という自発教令を昨年10月11日に発布しました。この「信仰の門」という表現は使徒言行録14章27節から引用された言葉です。使徒言行録には次のように記されています。異邦人たちに福音の恵みを受けたパウロとバルナバは宣教の起点であり根拠地であるシリア州アンティオキアから出発して再びアンティオキアへと戻ってきます。帰ってきたからすぐ彼らは教会の人々を集めて宣教旅行中に神が自分たちと共にいて行われたすべてのことを報告します。神が行われた出来事の中でパウロらにとって特に驚くべき出来事は、神が異邦人に

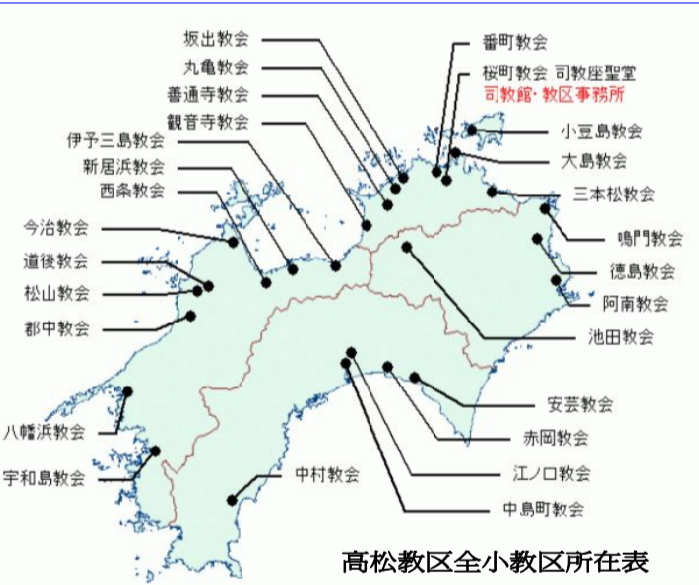


「信仰の門」を開いてくださったことでした。この「信仰の門」が開かれたのはまさに「神ご自身の出来事」であることがはつきりと証言されています。教皇が信仰年開催にあたってこの「信仰の門」という表現を使って私たちに促される新たな旅立ちを再び「信仰の門」のめぐり直しを促している理由はどこにあるのでしょうか。その真意は使徒言行録におけるパウロとバルナバの第一回宣教旅行において彼らが出会った「神の出来事」の中に集約されています。パウロの体験した神の出来事の際立った特徴を以下に挙げてみたいと思います。

### 信仰の門をめぐり直すと

### 聖パウロから学ぶ

①「信仰の門のめぐり直し」は私たち一人ひとりが自分の信仰の道を再び見出すために聖霊によって促される新たな旅立ちです。パウロの宣教旅行の意義は聖霊の導きの中に位置付けられています。ルカは出発に際して次のように述べています。「彼と真実を明らかにしたいという真摯な思いの中で、まことの幸福に導かない諸説や風潮に向き合い、他者に対する思いやりと愛をもって聖霊の光の中であらゆる神からの純粋な賜物です。」と導きます(13・12)。



高松教区全小教区所在表

「分かち合うこと」で共同体の力、喜び、賛美となるため「ダイナミックメモリー」で自らの信仰を確認し、祈りでの分かち合いを進めて欲しい」と提案する。人生の歩み振り返り 神の祈りに「気付け」 文書では『ダイナミックメモリー』について、「信仰の目で人生を振り返る」とすることとする。信徒が今までの人生の歩みを丁寧に振り返り神の導きを黙想する。自分が喜び、挫折、導かれた言葉、神様との絆など。「その出来事の中に流れている神様の御はからいや呼びかけを信仰者として気づき、主の御手の中にある私の存在を見つけていることは有意義である」とする。集いでは個々にダイナミックメモリーの実践によって導かれた祈りを

「分かち合うこと」で共同体の力、喜び、賛美となるため「ダイナミックメモリー」で自らの信仰を確認し、祈りでの分かち合いを進めて欲しい」と提案する。人生の歩み振り返り 神の祈りに「気付け」 文書では『ダイナミックメモリー』について、「信仰の目で人生を振り返る」とすることとする。信徒が今までの人生の歩みを丁寧に振り返り神の導きを黙想する。自分が喜び、挫折、導かれた言葉、神様との絆など。「その出来事の中に流れている神様の御はからいや呼びかけを信仰者として気づき、主の御手の中にある私の存在を見つけていることは有意義である」とする。集いでは個々にダイナミックメモリーの実践によって導かれた祈りを

### 信仰年シンボルマーク解説

- 四角形で示される区画の中で、教会を象徴する船が波の上を進む。
船のメインマストの十字架とともに、3つの帆がキリストを表す3文字(IHS)をかたどる。
帆の背景の太陽はIHSの3文字とともに聖体を示す。

②「信仰の門のめぐり直し」は自分の人生と世界の総督を「信仰の門」へ

### はばたき

「信仰年」がこれから始まるとうとしている。高松教区でも、小教区・ブロック・地区・教区レベルでの取組みが始まっている。「信仰の喜ぶの再発見」についての言及もある。実りある時を過ごしたい。さて40年前の高松教区での取り組みとして『教区信者世論調査統計表』(1972年10月)がある。入信の動機を見ると10代信徒は①幼児洗礼、②聖人、司祭、シスターの影響の順であるが、20代から60代信徒は①家族・友人の影響、②カトリック信仰のすばらしさ、を挙げている。信仰の喜びを見ると教区全体の85%が「喜びを感じる」としているが、10代信徒の34%は「あまり感じない」と答えている。興味深いのは、「信者同志および隣人との連帯性について」と「教会で自分の能力を発揮できているか」という設問である。前者は教区全体で73%が「協力している」と答え、後者については教区全体で59%が「あまり発揮出来ていない」と答えている。隣接教会との交流、協力についての質問に対しては、圧倒的多数が「おおいに必要」と答えている。気になる教会の財政状態に関しては教区民の47%が「全然知らない」と答えている。40年前にこのアンケートをまとめた方々の危惧が伝わってくる。さて、今アンケートを取ったらどのような結果となるであろうか？



本コーナーは今年の高松教区平和週間行事の平和コンサート「召命の集い」

### 召命の集い



## ～神様はいつも私たちに呼びかけている～

### 第1回高松教区「召命の集い」



8月4日(土)午後から5日(日)朝まで、四国カトリック会館において第1回高松教区「召命の集い」が開催されました。参加者は小学生2人、中学生4人、高校生4人、大学生5人、引率の大人として司教1人、司祭2人、プラサー1人、シスター2人、神学生3人、宣教会志願者1人、信徒4人の計29人で、この中の5人の大学生は韓国からの留学生でした。4日は集合後、午後2時から桜町教会で行われた「Concert for Peace」に参加しました。その後、会館に戻り、自己紹介も兼ねたゲームの後、諏訪司教指導による「みことばを聞く」集いが実施されました。夕食は桜町教会婦人会有志の方々が作ってくれました。

「招かれた私」というテーマで教区司祭、修道女、神学生、志願者、宣教会司祭がそれぞれの神様から招かれた体験を語りました。その後は聖体が顕示された地、林和則

「召命の集い」に参加しました。その後、会館に戻り、自己紹介も兼ねたゲームの後、諏訪司教指導による「みことばを聞く」集いが実施されました。夕食は桜町教会婦人会有志の方々が作ってくれました。

### 平和旬間平和コンサート

今年も8月4日(土)、桜町司教聖堂にて高松教区生涯養成委員会の二翼を担う賛美の歌グループを中心に「平和を祈るコンサート」が開催された。この賛美の歌グループは5年ほど前に溝部司教のお声がかかりで当時、生涯養成委員会の長をしていた



その間、賛美の歌による平和への祈りのコース、河合まゆみ氏の独唱などプログラムは進んだ。67年目となる広島原爆忌を前にヨハネ・パウロ2世の平和への想いである、戦争は人間の仕業です、を、折しも教区召命の集いに参加していた若者などの多くの参加者



や気持ちを与えたのかを考へ、法律者たちは、イエスもつと知りたいと思いた。た。今回、高松教区で初めて会う人たちと共に3日間を過ごし、最後はとも話せるようになった。また来年もこの人たちと一緒に歩きたいなと思えるような、とても良い3日間となりました。



で、戦争についての知識を二アといった国々から、神父様方を含め30人の参加があり、とても国際色豊かな集いとなりました。青年対象であった1日目は、夕方前からの和やかなオリエンテーションを終え、徳島教会の参加者たちが料理した夏野菜カレーをみんなで美味しくいただきました。その後、阿波踊り2日目で徳島市の街へ。あいにくのお天気で、一時は信じられないほどの雨が降りでしたが、そんな中でも、色とりどりの浴衣を着て楽しそうに「にわか連」で踊る韓国の女の子たちの姿がとても可

## 結城了雪祭

殉教 何と恐ろしい響きだろう。何百年も昔のことながら、背筋を蜘蛛が這い上がってくるような気がする。人は苦痛に弱い。主が言われるとおりの心は燃えていても肉は弱い。了雪神父が潜伏しながら宣教をしていた頃、親族、信者を含め周囲の人々は彼と関わることを怖れていたのではないのか。「居場所を言え!」と拷問を受けるかもしれない。「私はその人を知りません。」と叫びたかったのではないのか。

### 信仰も安心安全?でも不幸な時代

阿南教会 渡部厚子

了雪神父が捕らえられ、「宿主なく森の中で生活をしていた。」と言われて殉

死されたのを知ってホッとしただろう。うしろめたくもあつたろうが。信教のえに殺されることのない時代に生き、限らない安堵と共に肉体的苦痛に耐えた人々の強さを思う。強烈なキリストへの信頼、天国へのあこがれに満ちた肉体。科学の世紀に生きる人間は物的裏付けなしには何も信じられない。ニヒルになり、短絡的になる。本当は信じたい、心を燃やしたい、この世の壁を打ち破りたい、と誰もがぎっしりと心の奥深くを思っているのだ。しかし、無理。安心安全だが不幸な時代でもある。



## 高山右近祭

去る7月14日(土)小豆島教会に於いて午前、第6回高山右近祭・列福祈願ミサを捧げることが出来ました。時あたかも私たち小豆島教会の庭に凜と立つ右近像が「カトリック生活」誌7月号の表紙を飾り、その内容も「列福熱望高山右近」というもので先の日Kテレビ番組「わたしは愛を信じます」(歴史秘話ヒストリア)と共に脚光を浴びました。

### 「お接待の心捧げて右近祭」

小豆島教会 濱野尚作

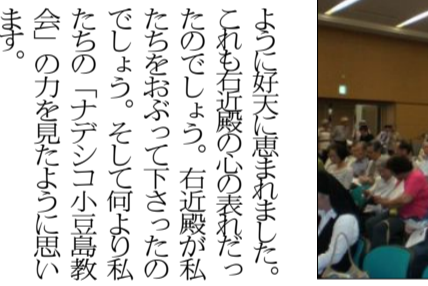
この度は溝部司教様はじめ十数名の神父様、助祭様、高松教区は勿論のこと県内外からも来島参加してくださり、総勢、百数十名の皆

すことができたことを神様に感謝しています。不思議なもので心配していたお天気も、あの2000年長崎での列福式の日



午後には会場をサン・オリブホールに移し「小豆島キリシタンの足跡をたどる会」が主催する溝部司教様による「小豆島に潜んだ右近の心情」と題する講演会も400名余が傾聴するほどの盛況のうちに催

よつと好天に恵まれました。これも右近殿の心の表れたのでしよう。右近殿が私たちをおおって下さったのでしよう。そして何より私たちの「ナデシコ小豆島教会」の力を見たように思います。



私たち「桜町聖母幼稚園コーラス部」は、今回2回目の参加となりました。選曲には毎回悩むところですが、「いつしなみかき」「赤い屋根の家」の2曲を

ユスト右近Jesuit (イイハナ) 咲かせ小豆島



### 第3回 聖歌合戦 幼稚園のお母さんコーラスも参加

特に「赤い屋根の家」は、幼いころに住んでいた場所・風景が時代とともに変わっ

た「歌とは愛」という言葉がとも印象的でした。普段私たちが歌を歌う時と云えば、子どもに聞かせる子守歌、子どもと一緒に歌うアニメソングなど、相手がいる場合と家事の合間に一人で口ずさむ歌や、カラオケで熱唱するような相手がない場合があります。しかし、実際に相手がない場合でも、誰か、何かを想像して歌う場合が多いのではないのでしょうか。それは歌が言葉よりも簡単に自分の思いを伝えることが出来る手段だからなのかもしれない。言葉以上に相手の心に響くものだからなのかもしれない。

私たちはこれからも愛する心を以て、歌を歌っていきたく思います。

桜町聖母幼稚園 成松日向

今年、日本・韓国・ス

8月15日の終戦記念日を前に、今一度みんなで共に平和について見つめ直した2日間を過ごし、この意義深い行事を毎年続けていくことこそが、本当の意味での平和につながるべく、だるごとく思っています。

徳島教会 桑原美和

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう

## 暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園  
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

医療のともしび (34)

「自殺」について

日本では既に知られているように、自ら自分の生命を断ってしまう人が毎年3万人を超える状況が13年も続いています。これまで教会は長い間自殺に関して非常に厳しい態度をとってきました。

わたしも公教要理を学んだ時に、自殺は大罪であり、自殺した人は葬儀を教会でもらえないし、カトリック墓地に埋葬してもらえないと教えられました。そこには自殺が命の与え主である神さまの御心に背くことであり、信仰者としてあってはならない行為であるという考えがあったからであります。その考えは今も変わりませんし、これからも変わらないでしょう。

しかしながら、自殺に関する精神医学的な研究(うつ病と自殺の関係など)や社会学的な研究(自殺と失業率の関係など)が進むにつれて、自殺の実態は非常に複雑なものであることが分かってきたのです。昔の武士の切腹のような場合は、自ら命を断つ意思が明確であると言えるでしょう。しかし、通常の自殺の状況はそうではないのです。本当は生きていたい、誰かに助けをもらいたいと思っているのだけれども誰も話を聞いてくれる人がいない、病気が絶対に治らない、経済的にもうどうにも

ならない、死ぬしかないと思いつめて心身のバランスを崩し、線路に身を投げたり、首をつったり、農薬を飲んだりといった行動に走ってしまう場合が多いのです。その時の意識は通常の意識ではなく、気が付いたら線路の上を歩いていたとか、朝目が覚めたら枕元に農薬が置いてあったか前の晩自分が農薬を買って来たことを全く覚えていないとか、自分でもそんな行動をするとは全く思っていなかったなど、自ら死を選ぶという明確な意思を持っているとは言えないような状況が多いのです。

苦しみの極地においてどこまで自己責任を問えるかという問題もあるでしょう。また、その人たちが孤独に追いやってきた社会の構造の問題、経済の仕組みの問題もあるでしょう。自殺の全ての責任をその人個人の責任にしてしまうのは実態を歪曲してしまうことになるのです。

以上のような背景をもとに、日本カトリック司教団は2001年に「いのちへのまなざし」というメッセージを日本の社会に向けて発表しました。そこには自殺する人への共感、神の慈しみへの信頼が根底に流れています。今では自殺した人の葬儀を教会で行い、またカトリック墓地への埋葬も行われるようになってきています。私はこのような変化を大変喜んでおります。神様の人間への慈しみ深いまなざしを感じるからであります。

聖マルチン病院 井原彰一

教区スケジュール

- 9月
2日(日) 年間第22主日
5日(水) 司祭評議会12:00
8日(土) 聖マリアの誕生(祝)
9日(日) 年間第23主日
10日(月) 日本205福者殉教者(記)
14日(金) 十字架称賛(祝)
15日(土) 宣教司牧評議会役員会13:00
16日(日) 年間第24主日
17日(月) 敬老の日
22日(土) 秋分の日
23日(日) 年間第25主日 世界難民移住移動の日(献金)
24日(月) 深堀敏師第4回忌追悼ミサ11:00
29日(土) 修道女連盟研修会(高知)
30日(日) 年間第26主日
10月
1日(月) 聖テレジア(幼きイエズス)おとめ教会博士(記)
2日(火) 守護の天使(記)
4日(木) 聖フランシスコ(アシジ) 修道者(記)
7日(日) 年間第27主日
8日(月) 体育の日
11日(木) 「信仰年」開幕
14日(日) 年間第28主日4
15日(月) 聖テレジア(イエズス)おとめ教会博士(記)
17日(水) 聖イグナチオ(アンティオク)司教殉教者(記)
18日(木) 聖ルカ福音記者(祝)
21日(日) 年間第29主日 高知地区教区民の集い(江ノ口教会) 世界宣教の日(献金)
28日(日) 年間第30主日 愛媛地区教区民の集い(道後教会)
31日(水) 秋の1日司祭集会・一般公開特別講演会in桜町

乳幼児期は人格形成の源泉
カトリック幼稚園の教職員が高松で研修
カトリック高松司教区幼稚園連合会(会長:諏訪榮治郎司教)主催の教職員研修会が、7月30日、31日と高松市のホテルにて、「子どもと共に育む心」というテーマで開催された。今回で40回を迎える研修会には、四国4県20カトリック幼稚園から約110名の教職員が参加した。



分科会討議に取り組む先生方

盛夫師(唱教公箱正司祭)が「子どもが心を育む世界」が乳幼児期は人格形成の源泉」と題して基調講演を行った。乾師はこの講演の中で、①成長を司る自然の法則を学び、自然と人の働きの中に働かせる創り主の思いを知ることが必要である

多田 洋
が予定されている。
来年度は高知地区での開催が予定されている。

あなたはイエス・キリストですか?
聖骸布
講演会 & 写真展
解説 ガエタノ・コンプリ神父
場所 カトリック桜町教会
開催日 2012年10月13日(土)~14日(日)
時間 10/13(土) 14:00~16:00
10/14(日) 13:00~15:00
演題 『聖骸布とは・聖書との関係』『聖骸布の歴史と科学的研究』
入場無料 興味のある方はどなたでもお越しください

場所:カトリック桜町教会
日時:2012年10月13日(土)14日(日)
時間:10/13(土)14:00~16:00
10/14(日)13:00~15:00
\*両日とも内容は同じです
演題
『聖骸布とは・聖書との関係』
『聖骸布の歴史と科学的研究』
講師:ガエタノ・コンプリ神父

る。②大人は子どもの成長について学び、真実と愛の世界を子どもとともに生きている。③幼児教育はその本質からして平和教育ないし平和運動であり、幼児が貢献していることを世に伝える働きができる世界がここにあり、と指摘した。講演を受けて、参加者は8グループに分かれ、テーマに関して現状を分かち、内容をより深めた。2日目はグループごとに討議した内容を発表し、全体提供した。最後にネルソン・ウィリアム司式で、みことばの祭儀をおこない、閉会した。

「ひとつにならう」をスローガンに、香川地区東讃ブロック(小豆島、番町、桜町、三本松各小教区)教会学校合同で恒例のサマーキャンプが7月22日に東かがわ市水主の霊性センターで行われました。

遊の後は、午前中のミサ



今回、注目すべき点は一つ。まず霊性センターでの初開催、そして地元でもある三本松教会との合同の主日ミサです。
9時30分からの合同ミサは、幼稚園児から高校生までの十数名の子も達と、その保護者、また三本松の信者の方々、そしてレナト神父様、谷口終身助祭との賑やかなミサとなりました。
ミサの後は参加の子ども全員でヨゼフ神学生の指導のもと、サッカーと綱引きをして遊び、お楽しみの昼食の準備、暑い日差しの中、天候に恵まれ、暑い日差しの中、天候に恵まれた。片付けの後、スイカ割り。なかなか割れず、みんな悔しい思いをしました。が、切ってもらったスイカを全員でいただいた大満足でした。

三本松教会 長町公司
感謝します。

の福音朗読(マルコ6:30)を題材にして学年別に別れ、みことばの体験として話し合いをして、最後に聖堂でグループごとに発表しました。
暑い中、たっさんの子もたちと多くの保護者、そして三本松教会の信者の方々、またレナト神父様他のご協力があり、キャンプが成功に終わった事を神に感謝します。

東かがわ霊性センター(仮称:かぜの丘)開設のお知らせ



高松教区立国際神学校(レデンプトリス マーテル)が閉校となり、2年余の管理を経て、「東かがわ霊性センター(かぜの丘)」として新たに開設いたしました。
瀬戸内海に面した三本松の地、みどりの豊かな丘にあり、心身共にさわやかな一時をおすごしいただけるのではないかと、皆さまにご利用いただきたくご案内申し上げます。
青少年活動、教会学校キャンプ、ボーイ(カブ)スカウト、青年たちの集会 また地区活動など、グループ活動の場として、さらにグループ黙想会、研修、養成コースなど霊的な集いなどに広くお使いいただけたらと思います。近くには三本松の海水浴場や平家ゆかりの登山道などもあり、また近接する「とらまる公園」では大きな体育館や、各種スポーツ施設、プール 人形劇場なども充実しています。
ただ、十分整った施設というのではございませんので、できるかぎりグループの自主性とアイデア、そして奉仕の精神のもとでお使いいただけたら幸いです。

申し込み、問い合わせなど詳細は高松司教館事務局にご連絡下さい。
〒076-0074高松市桜町1-8-9 TEL 087-831-6659 Fax 087-833-1484

マリッジ・エンカウンター ミニプログラム
夫婦が結婚の段階を段階的に生きる事を通して、豊かな喜びを体験し、その喜びを家庭や社会の中で活かしていくことを目指しています。
日程 第1回 9月29日(土)13:30~16:30
第2回 9月30日(日)11:30~14:30
※2回連続の参加をお勧めしますが、どちらか1回の参加も大歓迎です。
場所 桜町教会2階
※ 高松地区の3聖の教区に所属するカトリック教会(堂)で行われ、完全無料(カトリックの信者)で開かれます。
参加費 1人1,000円(参加費、資料、資料袋、お茶、お菓子)
お申し込み先 鈴木 087-74-0763 (桜町教会)
野崎 087-833-0792 (桜町教会)

ME関東地区の聖イグナチオ教会で行われたの3組のご夫婦による体験プログラムを四国で開催します。
一人でも参加できます。司祭、シスターも歓迎です。
場所 桜町教会2階
日時
第1回9月29日(土)13:00~16:30
第2回9月30日(日)11:00~14:30
お問い合わせ先
鈴木(新居浜教会) 0896-74-8753
野崎(桜町教会) 087-862-0792

新刊書籍

結婚 生涯 ともに誠実に
結婚をひかえたお2人、よりよい結婚生活をおくりたいと考えているご夫婦に贈る愛のいのちの賛歌です。充実の資料編は、カトリック教会で結婚式を挙げるカップル必見!
第一章 不安の中にも二人は結ばれてゆく
第二章 育てられ、成長する「結婚」
第三章 愛するということ
第四章 どのような家庭を築くのか
第五章 神は私たちの期待をよるかに超えて
資料編・カトリック教会で結婚式を上げるために
・カトリック教会の結婚とは ・教会の結婚式Q&A
・カトリック教会の結婚式 ・結婚式で読まれる聖書箇所
・結婚に関する聖書箇所
イシドロ・リバス 著 新書刊 並製 173ページ

召命黙想会のご案内

聖ドミニコ宣教修道女会
テーマ:神様との絆を求めて
日時 11月23日(金)PM2:00から25日(日)朝まで
場所 聖ドミニコ宣教修道女会本部 ロザリオ修道院
参加費 3000円(〒664-0892 兵庫県伊丹市高台5-28)
対象 高校生から35歳までの独身女性 締切 11月9日(金)
申込みシスター小島 ■(072)782-2548 F(072)784-7615

編集後記
今夏も昨年以上の猛暑に見舞われた。そんな中でまた一人尊敬する司祭を失った。痛恨の極みだ。
サツマイモを植え付けているが連日の日照り続きで葉も日焼けし、縮んでいっているのを見て、朝夕は水やりが日課となった。
10月から「信仰年」が始まる。パパ様は枯れかけた信仰心への水やりを生涯かけての課題とするのだから。
それも栄養を豊富に含んだ水でなければと思う。(J)

医療法人社団聖心会 阪本病院
わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様へ愛され信頼される病院を目指します
院内保育園完備
整形外科・脳神経外科・泌尿器科
皮膚科・外科・消化器外科
耳鼻科・乳癌外科・形成外科
呼吸器外科・呼吸器内科・内科
リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒660-0902
香川県東かがわ市川東103-1
☎0879-25-1121 (代)
http://www.idm-hcg.co.jp/sakamoto/

神を觀想し、その実りを人々に伝えよ
聖ドミニコ宣教修道女会